

[原著論文：査読付]

## N1文法部分から見た敬語習得の問題点及びその対策

夏 俊<sup>1)</sup>，松田 高史<sup>2)</sup>，沙 秀程<sup>3)</sup>

### Issues and countermeasures on Japanese Keigo learning - exemplified with the Keigo questions of N1's Grammar part

Jun XIA<sup>1)</sup> , Takafumi MATUDA<sup>2)</sup> , Xiucheng SHA<sup>3)</sup>

#### Abstract

The questionnaire on N1's grammar test aiming at students majoring in Japanese shows that students encounter some issues in mastering the form and meaning of the general form and the special form of Japanese Keigo for them. On the other hand, the weakness in primary grammar foundation and the shortcoming in middle- and high-level Japanese sentential pattern knowledge also have negative impact on the correct understanding and answering to N1's questions on Japanese Keigo. The learning and use of Japanese Keigo is not a isolated issue. This paper discusses the counter-measures to these issues from two aspects of the Japanese Keigo learning and the grammar learning relating to Japanese Keigo, the latter includes the auxiliary word, the continuous auxiliary word as "te" and the accepting expression, etc.

**KEY WORDS** : Japanese Kego; issue; counter-measure

---

1) 長沙学院日本語学科  
2) 九州共立大学名誉教授  
3) 九州共立大学共通教育センター

1) Foreign Langue Department of Changsha College  
2) Kyushu Kyoritsu University, Professor emeritus  
3) Kyushu Kyoritsu University, Career and General Education Center

## はじめに

2010年日本語能力試験が改革され、新しい日本語能力試験一級（N1）の文法部分は丸暗記だけで高い点数が取れるパターンを変え、受験者の総合的運用能力についての考察を更に重視するようになった。受験者にとって、理想的な点数を取ることが一層難しくなり、その中、敬語問題は特に受験者を悩ませるものである。

中国人学習者にとって、母語に敬語と対応するシステムが存在しない。また、日本語の敬語表現は形や変化が多く、場面、人物関係、動作主体などによって使い方が変わる。様々な要素が絡んでいるため、敬語は学習するうえで難点となっている。

敬語の教授法に関する先行研究も多く見られる。菊地（1997）は、「敬語の語形の誤り」、「謙譲語と尊敬語の混同」、「正しく謙譲語の機能を理解できていないため犯したミス」、「「いただく」「くださる」と関係するミス」、「自分を高めてしまうミス」、「過剰敬語」、「文体的なアンバランス」など七つの誤用状況をまとめている。任麗潔（2013）では、日本ドラマにおける敬語動詞の出現頻度を調査し、中国の教育現場での段階的な敬語学習を主張している。

本稿では、敬語学習の問題は敬語知識だけではなく、敬語と関連する知識の不足も敬語の理解と運用に影響する要因であると考え、日本語能力試験最上級N1試験の文法部分を切り口に、敬語学習の問題点とその解決を分析してみる。学習の段階で問題をクリアすることは、挫折感を解消し、自信を養い、積極的な敬語使用に繋がるのではないかと考える。

### 1 N1文法部分の敬語問題についてのアンケート調査

N1試験の文法部分は「文法形式の判断（10問）」、「文の組み立て（5問）」と「文章の文法（5問）」の三つの部分からなっている。敬語についての出題は「文法形式の判断」部分にあり、考察形式は穴埋めとなっている。

2010年7月から2015年7月までのN1文法部分の穴埋め問題にある敬語の問題数は表1のようである。

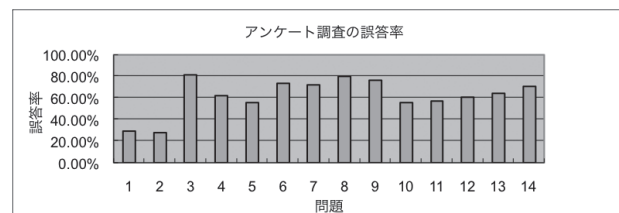
表1 N1文法部分の穴埋め問題における敬語問題の小問数

	2010/7	2010/12	2011/7	2011/12	2012/7	2012/12	2013/7	2013/12	2014/7	2014/12	2015/7
小問数	1問	1問	2問	1問	2問	1問	2問	1問	1問	1問	1問

注：本稿は選択肢に敬語表現があるもので敬語を考察する問題とする。

日本語学習者の敬語習得状況を把握するために、本稿では、2010年7月から2015年7月までのN1文法部分のあらゆる敬語考察問題（選択肢に敬語表現があるもの）14問を選び出し、中国湖南省の二つの大学の日本語学科の上級学習者を対象に、アンケート調査を行った。アンケートの平均誤答率は61.86%である。各問題の誤答率を表2にて示す。

表2 アンケート調査の誤答率



敬語問題の誤答率が高いのは何故か？如何に「敬語難」問題を解決するのか。本稿では、N1敬語出題の考察傾向及び敬語学習の問題点について検討し、その解決案を探りたいと思う。

### 2 N1文法部分の敬語出題の考察傾向

N1文法部分の敬語問題の選択肢は主に（1）「尊敬語彙」と「謙譲語彙」の形と意味の考察、（2）「尊敬表現文型」と「謙譲表現文型」の形と意味の考察、（3）敬語と初級文法の組み合わせ、（4）敬語と中級か上級文型の組み合わせの四種類である。

その中、（1）と（2）は敬語知識を考察するものであり、（3）と（4）は初級から上級までの文法、文型、敬語知識などを含め、複数の文法項目を組み合わせで正しい文にする能力を考察している。

次に、この四種類の考察傾向と調査結果のデータに基づき、学習者の敬語学習の問題点を分析していく。

### 3 アンケート調査に見られる敬語学習の問題点

#### 3.1 「尊敬語彙」と「謙譲語彙」の形と意味の把握不足

2010年7月—2015年7月のN1試験の14問の敬語問題で、尊敬語彙と謙譲語彙が選択肢に出ているものは13問で、92.9%を占め、アンケート調査での平均誤答率は60.3%である。

例 (1) (電話で)

A 「ご注文の品をお届けに ( ) たいのですが、明日のご都合はいかがでしょうか。」

B 「そうですね。3時以降なら家にいます。」

1. 上がり 2. 差しあげ 3. 願い 4. 見え

(2012年12月N1, 誤答率80.06%)<sup>[2]</sup>

「頂く」「差し上げる」「いたす」「申し上げる」「おいでになる」「頂戴する」「なさる」「参る」「申す」「ご覧になる」などよく使われる表現のほか、「行く」の謙譲語「上がる」のような表現も考察されている。正確に敬語を使うために、「尊敬語彙」と「謙譲語彙」を覚える必要はあるが、その量が多く、混同しやすいので、学習者にとってマスターしにくくなっている。

#### 3.2 「尊敬表現文型」と「謙譲表現文型」の形と意味の把握不足

敬語の「尊敬表現文型」は「お/ご・・・になる」「お/ご・・・です」「お/ご・・・ください」, 「謙譲表現文型」は「お/ご・・・する」などの表現を指している。

過去の14問の敬語問題に、選択肢に敬語の「尊敬表現文型」が現れたのは二問で、全体の14.3%を占め、調査の誤答率は77.63%である。

例 (2) (インタビューで)

A 「お店で一番気をつけていることは何ですか」

B 「衛生管理です。お客様に食事を ( ), 衛生面の管理には、何よりも注意しております。」

1. お出しになる以上 2. お出しになるうえ  
3. お出しする以上 4. お出しするうえ

(2011年7月N1, 誤答率81.45%)

例 (2) は敬語の「尊敬表現文型」の考察と同時に、「以上」と「うえ」という二つの中級文型も考察している。86のアンケート調査で、「尊敬語」である選択肢1と選択肢2を選んだのは57人で、全体の66.3%である。これは被調査者の敬語「尊敬表現文型」の把握状態が楽観的でないことを語っている。

#### 3.3 初級段階の文法知識の把握不足

『新しい「日本語能力試験」ガイドブック』では、「文を作るために、助詞を使ったり、動詞や形容詞などの活用語の形を変えたりして、語と語とが自然に結びつくようにしなければなりません。そのためには、助詞や活用語などといった、文法形式とその意味用法に関する知識が必要です。その知識がなければ、日本語の文として、意味をなさない単なる語の羅列になってしまい、特に書かれた文の場合はまったく意味が通じないといったことも起こり得る」<sup>[3]</sup>と述べ、基礎的文法知識の重要性を強調し、その運用を考察の要点としている。

アンケート調査の結果から被調査者の日本語文法の基礎知識が不十分であることが明らかになった。助詞知識の不足、補助動詞の意味用法への不理解、授受表現への理解が混乱していることなどが目立つ問題である。

##### 3.3.1 助詞知識の不足

日本語は膠着語で、助詞や補助動詞などで文法関係を示す言語である。日本語の助詞は文において道標のような存在で、例えば、主格助詞「が」、目的語を表す助詞「を」、受け身文・使役文の動作主を表す助詞「に」などはそれぞれの文法的役割を果たしている。この基本的な特徴を十分に理解できなくては、日本語の学習と運用に影響をもたらすのである。アンケート調査で、選択肢が助詞と関係する問題は6つで、全体の42.86%を占め、誤答率は57.28%である。

例 (3) (ホテルのホームページで)

このページでは、当ホテルにご宿泊いただいたお客様から ( ) ご意見、ご感想を掲載しております。

1. なさった 2. 差し上げた 3. 頂戴した  
4. おいでくださった

(2014年12月N1, 誤答率64.09%)

助詞「から」への不理解、選択肢にある敬語語彙の把握不足が例 (3) の誤答の原因であろう。

##### 3.3.2 接続助詞「て」への理解不足

接続助詞「て」の意味用法への不理解も初級文法の基礎が弱いことの表れである。

例 (4) 新市長に当選した上田氏は「選挙中に掲げた政策を、市長として私自身が先頭に立って実行して ( ).」と決意を述べた。

1. まいります 2. 願います 3. いたします  
4. 頂戴します

(2014年7月N1, 誤答率60.63%)

例(4)では「てまいります」という補助動詞の使い方を考察しているが、誤答率60.63%の中、選択肢2か3を選んだ被調査者は少なくない。錯乱肢2と3を選ぶと「実行して願います」と「実行していたします」になり、文法的、意味的に成立しないことに意識せず、接続助詞「て」の用法についての認識が不十分であることが観察できた。

### 3.3.3 授受表現についての知識不足

授受表現は日本語による日常会話で使用頻度の高い表現である。「恩恵意識」を伴うので、常に「他人を立て、自分を遜って言う」敬語表現と共に、「依頼」「感謝」「お詫び」などの気持ちを表している。2010年7月—2015年7月のN1試験の敬語過去問の選択肢に授受表現が現れたのは11問で、78.57%を占め、誤答率は61%である。

授受表現は形が多くて、視点の置き方が複雑で、助詞との関わりもある。これらの特徴は、形が多様で変化の多い敬語表現と相まって、授受表現の敬語形式の習得に一層困難をもたらしている。

「て頂く」、「てくださる」など3.3.2で言及した接続助詞「て」+「補助動詞」の形のほか、選択肢に「お(ご)・・・いただく」、「お(ご)・・・くださる」など中級段階で学ぶ敬語表現の文型もあるので、本稿では授受表現の敬語形式を一つの分類として分析する。

例(5)「このたびは、私どもの商品発送ミスにより、お客様に大変ご迷惑をかけたことを深く( )。申し訳ございませんでした。」

1. わびていただきます
2. わびていらっしゃいます
3. おわびいただきます
4. おわび申し上げます

(2010年12月N1, 誤答率27.49%)

この問題はお詫びするときに使う敬語表現を考察している。アンケート調査での誤答率は27.49%で、誤答は選択肢1と3に集中している。多くの被調査者は選択肢1と3は同じ意味を表していることに気付かず、授受表現の形を把握していないことが観察できた。また、「お・・・申し上げます」という形に馴染んでいないことも誤答のもう一つの原因である。

例(6)(インタビューで)

記者:「田中監督、優勝おめでとうございます。田中監督ご自身の今の気持ちを( )。」

監督:「はい、優勝できて本当にうれしいです。」

1. お聞きいただけません
2. お聞かせ願えますか
3. お話になるでしょうか
4. お話し申し上げますか

(2011年12月N1, 誤答率55.72%)

一部の被調査者が初級文法の基礎が弱く、選択肢1「お・・・いただけません」や選択肢3「常体+でしょうか」などの表現形式を正しく識別できず、必要な文法知識と判断力に欠けていることが分かった。

### 3.4 中上級文型の把握不足

N1の文法は上級文法までが出題範囲であり、その範囲の広さが、敬語問題を含める文法部分の難易度を高くしている。今まで14問の敬語問題の中、中上級文型が含まれているのは3問で、21.42%を占め、誤答率は70.34%である。

例(7)本サービスを利用される方は、利用規約を( )、お申し込みください。

1. ご覧の結果
2. ご覧になった結果
3. ご覧になった上で
4. ご覧になった上に

(2013年7月N1, 誤答率55.77%)

例(7)の選択肢2.~4.にある「た結果」「た上で」「た上に」は中級文型で、全ての選択肢の前半は同じ内容だが、誤答率が半分以上になることは、誤答の原因は中級文型知識の不足にあると思う。

以上の分析から見ると、敬語の習得と使用は敬語だけの問題ではないことが明らかである。助詞と補助動詞を十分に理解し、日本語文型を暗記し、必要な文法知識を身に付けてからでないと、正確な敬語の使用については語れないだろう。

## 4 「敬語難」問題の対策

### 4.1 「尊敬語彙」と「謙譲語彙」の習得について

敬語の「尊敬語彙」について「単語とフレーズが多くて覚えにくい」という印象を持ち、敬語を恐れてしまう学習者が多いが、学習者にとって、「尊敬語彙」と「謙譲語彙」は敬語学習で避けられない項目で、これらの単語とフレーズを覚えてからでないと、実際のコミュニケーションの場での正確な敬語使用は難しい。「召しあがる」「伺う」など、覚えるべき「尊敬語彙」と「謙譲語彙」は約40で、表にまとめてから暗記を繰り返すことをお勧めする。

また、穴埋め、入れ替え、文作りなどで練習すること、映画やドラマなどにある敬語場面を観察して真似すること、ロールプレーで練習することも印象を強め、単調な暗記活動を面白くすることができると思う。

### 4.2 「尊敬表現文型」と「謙譲表現文型」の習得に

## ついて

敬語の「尊敬語彙・謙讓語彙」と比べ、「尊敬表現文型」と「謙讓表現文型」にはいくつかの固定した形があり、相対的に習得しやすいが、しかし、3.2で述べたように、調査にて被調査者の把握状態がよくないことが観察された。

形が多い敬語表現を段階的で計画的に突破すること、また、雑然としている中で規律を探り、逐一突破することを薦める。

図1と図2は「尊敬表現文型」と「謙讓表現文型」の表現形式である。

尊敬表現の文型	謙讓表現の文型
お/ご・・・になる お/ご・・・なさる お/ご・・・です お/ご・・・くださる	お/ご・・・する お/ご・・・いたす

図1「尊敬表現文型」の形 図2「謙讓表現文型」の形

図1と図2のように、「尊敬表現文型」と「謙讓表現文型」の前半は同じである。したがって、その異なる部分、つまり後半部分さえ覚えれば、「尊敬表現」と「謙讓表現」の形と区別がマスターできる。混乱を招かないように、まず数の少ない「謙讓表現文型」の形を覚え、残りは「尊敬表現文型」だと、段階を分けて覚えることもできよう。また、置き換えや文作りなどで練習することも不可欠である。

敬語表現の形が多くて煩雑であるため、よく整理して覚えないと、混同や誤用などが生じやすくなり、敬語使用の妨げになる恐れがある。「敬語難」問題を突破するために、まず敬語表現の形と意味を整理して覚える必要がある。

## 4.3初級文法の習得について

### 4.3.1助詞について

敬語問題で、「誰が誰に話しているか」、「誰の動作であるか」などを正しく判断できないと、「尊敬語」と「謙讓語」のどちらを使うべきかを弁別できず、正確な敬語表現につながらない。こういうとき、文の成分を示す標識である助詞「は」「が」「から」「に」などは判断のヒントを提供してくれるのである。

使い方が多様である助詞「に」を例として見てみよう。N1の文法部分で考察された「に」の用法に、変化と動作の結果(例えば「NをNに」)、授受動詞「あげる」「くれる」の対象、移動の目的、「もらう」「て

もらう」の与え手、受け身文の動作主、使役文の使役主、使役受け身文の使役主などいくつかある。

日本語の助詞は数多く、「に」のように複数の用法を持つ助詞もあるので、その意味用法を十分に把握しておかないと、日本語文の構造と意味もうまく理解できず、表現したいこともうまく伝わらないため、初級段階で助詞の理解と整理は強調すべきものであろう。

### 4.3.2接続助詞「て」の意味用法について

動詞の「て」形は動詞の第二連用形であり、『日中辞典』(1987)は「て」の意味用法を以下の六種類に分けている。(1)動作・作用が行われる際の手段・方法・様子・状態などを表す。例：母に連れられて動物園に行った。(2)動作・作用が続いて起こることを示す。例：本を読んで感想を書く。(3)原因・理由を示す。例：風邪を引いて学校を休んだ。(4)並列・添加・対比などを表す。例：姉がピアノを弾いて妹が歌を歌う。(5)逆接の関係を示す。例：見て見ぬふりをする。(6)補助動詞を導く。例：字を書いている。机の上に置いてある。<sup>[4]</sup>

例(4)新市長に当選した上田氏は「選挙中に掲げた政策を、市長として私自らが先頭に立って実行して( )」と決意を述べた。

- 1.まいます
- 2.願います
- 3.いたします
- 4.頂戴します

(2014年7月N1, 誤答率60.63%)

例(4)の正解「てまいます」は(6)の「補助動詞を導く」用法である。選択肢2と3を選択すると、上述「て」のいずれの用法にも当てはまらず、意味の通じる文として成り立たない。選択肢4にして、「て頂戴する」という授受補助動詞になるが、文の全体の意味と一致しない。にもかかわらず、例(4)の誤解率は60.63%である。

動詞の連用形としての接続助詞「て」の意味用法をきちんと把握して、ぼんやりとした文法認識をはっきりさせることは必要であろう。敬語学習だけではなく、文法学習において、「混乱」や「さまよい」を避けるように、「直感」というより、文法体系に頼った問題解決より上策はないのではないだろうか。

### 4.3.3授受表現について

授受表現を勉強するとき、まず初級段階の「あげる」、「くれる」、「もらう」、「やる」という四つの授受本動詞およびそれと共起する助詞を把握しなければならな

い。次に、「てあげる」、「てくれる」、「てもらう」、「てやる」という四つの授受補助動詞の意味用法、及びその敬語形式を学習するのである。本稿では以下のように授受表現の敬語形式の難点と対策を論じてみる。

### (1) 授受表現の敬語形式の文型

授受表現の敬語形式を「尊敬語」と「謙譲語」に分けて図3と図4のようにまとめる。

授受表現の尊敬語	授受表現の謙譲語
……てくださる お/ご……くださる	……て頂く ……て差し上げる お/ご……頂く お/ご……差し上げる

図3 授受表現の尊敬語 図4 授受表現の謙譲語

### (2) 授受表現の視点の置き方

視点の置き方は授受表現の難点である。特に授受表現が方向動詞と共起するとき、あるいは複数の補助動詞があるとき、視点の置き方に混乱が生じやすい。

#### 例(8)

川村「石田さん、ギターがほしいって言っていましたよね。わたしの弟が使っていたギターがあるんですが、よければどうですか。」

石田「いいんですか。」

川村「はい。弟に聞いたら、弾いてくれる方がいるなら、ぜひと言っていましたので、どうぞもらって( )。」

1. やりませんか      2. やってください  
 3. いただきませんか      4. いただいてください

(2012年12月N1, 誤答率71.78%)

中国人の日本語学習者が日本語文を前から後ろへと読み、その語順に沿って意味を理解しがち、或いは訳しがちだと現場でしばしば観察される。中国語文の「主語+モダリティ+動詞+目的語」という語順に比べ、筆者は日本語文の特徴の一つは「玉葱式」だと考える。つまり、外から中へと(文の最後から前へと)玉葱を剥くように分析することである。

まず、モダリティを表す表現が文末にあることが多い。その前に位置するのは文の「述部」である。動詞文の「述部」は「動詞」または「動詞+補助動詞」で、後者である場合、補助動詞とその前にある本動詞と合わせて理解する必要がある。例(8)の「もらってやってください」を例として分析してみよう。

もらっ {て やっ て} ください

本動詞 授受補助 動詞(弟に恩恵) 依頼表現

例(8)の本動詞「もらう」は方向性を伴う動詞で、また、「てやる」と「てください」という二重の補助動詞があるので、混乱を起こしやすい。以上で示すように、「玉葱」を剥くような方法で、最後から前へ順番に分析していくと、日本語にまだ馴染んでいない学習者にとって文の意味理解の助けになるであろう。海外の日本語学習者にとって「聞いて自然に覚える」「そのうち使えるようになる」のようなことは難しいので、本稿は文法を分析するとき、積極的な解説や整理や練習を通じて、理解してもらおうとする。特に、初級段階でしっかりと日本語文の構造を把握することは日本語の理解と運用に繋がるので、「構文意識」を持たせることが必要だと考える。

### (3) 授受表現と関わる「あたかも恩恵もらい」の用法

例(8)「弟に聞いたら、弾いてくれる方がいるなら、ぜひと言っていましたので、どうぞもらってやってください」にある恩恵の授受関係は被調査者を困らせる問題である。「川村さんがその弟さんのギターを石田さんにあげるのに、何故石田さんの「もらう」という行為を、「もらってやる」にするのか、まるで石田さんが川村さんの弟に恩恵を与えるかのように聞こえるんですが…」。

このような表現の仕方は、早稲田大学の蒲谷宏氏が提唱した「あたかも表現」である。つまり他人の行為を「あたかも自分に恩恵がある」という言い方にして、相手の気持ちを考慮したり、敬意を表したりするのである。

蒲谷氏は、共著『敬語表現』でこの「あたかも表現」方法を、「本来の表現意図はXであるが、あたかもYを表現意図としているかのように見える表現」と定義し(蒲谷、川口、坂本、1998:128)、また、蒲谷等(2002)では、以下のように敬語表現の一つであることを指摘してている。

「[相手]の行為を[自分]への恩恵として捉え、「あたかも表現」にすることでより丁寧にするという方略がある。このようなインターアクション方略は、「自分」の「利益」の実現を「相手」の力に任せることを示すものであるという意味において、B & Lのnegative politenessのチャート<sup>8)</sup>に見る、5.「敬意を示せ

(Give deferenc) であると思われる。」<sup>[5]</sup>

例(8)では、川村が、実際に利益(恩恵)を得る相手の気持ちに配慮して、「あたかも自分が恩恵を得る＝もらってもらえれば自分はうれしい」という自らへの「恩恵与え」行為を表しながら、実際には「相手の判断に委ねる＝相手への配慮」という謙譲の気持ちを表現しているのである。

「あたかも表現」は「思いやり」を重んじる日本語によるコミュニケーションの現場でよく使われる表現ではあるが、理解が難しい表現ではあるので、授受表現と敬語表現を教えるときに丁寧な説明をする必要があろう。

## 5 まとめと今後の課題

敬語は日本語学習の難点である。本稿はN1の文法部分の敬語問題をアンケート調査の内容にして、日本語学習者の敬語学習状態を把握し、学習の問題点を分析し、習得方法を提言した。

アンケート調査で二つのことが判明した。(1) 学習者の敬語語彙及び敬語表現文型の形と意味についての把握が不足している。(2) 初級の文法知識や中上級の文型知識の不足が敬語問題を解くのに困難をもたらしている。特に、助詞、補助動詞、授受表現などの知識不足が文の判断や敬語の正確な理解と使用に影響している。

まず(1)についてであるが、敬語の習得では、「敬語表現文型」と「敬語語彙」の形と用法を覚え、場面、人物関係、動作主を正しく判断し、他人のことを立てて、自分のことを遜って言うということを常に意識することが原則である。

一方(2)の問題については、敬語の習得は敬語の分類・用法だけの問題ではなく、助詞などの必要な文法知識を身につけておかないと、正しい敬語使用は実現できないということから、初級の教育現場から助詞の重要性を強調し、補助動詞、連用形などの文法知識をきちんと理解させ、構文意識を養い、文型を覚えてもらうことが大事である。

試験での敬語問題は、選択肢もあり、考える時間もあるので、コミュニケーションの現場での敬語使用ほど複雑ではないが、学習段階やテストの段階で難点を解決することは、心理的抵抗を解消し、敬語の使用率と正解率を高める有効な手段であろう。

N1試験では多重敬語や「れる・られる」の形の考察に触れていなく、また、多肢選択の問題形式で、考

察内容に不完全なところもある。次の研究では、ロールプレーで場面を設定して、学習者の敬語使用とその問題点を考察したいと思う。また、その次の段階で敬語の学習支援APPの内容設計も考えてみたい。

## 注

- [1] 湖南大学日本語学科の学生32人で、日本語学習期間は1年9カ月である。長沙学院日本語学科の学生54人で、日本語学習時間は2年9カ月である。
- [2] 本稿の例文は全て2010年7月—2015年7月の日本語能力試験N1文法部分の問題である。
- [3] 独立行政法人国際交流基金、財団法人日本国際教育支援協会.新しい「日本語能力試験」ガイドブック[OL].2009.<http://www.jlpt.jp/reference/materials.html?mode=pc>.
- [4] 北京経済貿易大学、商務印書館、小学館。日中辞典[M]。東京：小学館、1987：1262。
- [5] 川口義一、蒲谷宏、坂本恵。「敬語表現」と「ポライトネス」[J].社会言語科、2002(第5巻第1号)：21-27。
- [6] 北京経済貿易大学、商務印書館、小学館。日中辞典[M]。東京：小学館、1987：1873。

## 参考文献

- [1] 川口義一、蒲谷宏、坂本恵。『敬語表現』[M].東京：大修館書店、1998。
- [2] 川口義一、蒲谷宏、坂本恵。「敬語表現」と「ポライトネス」[J].社会言語科、2002(第5巻第1号)。
- [3] 文化審議会答申.敬語の指針[OL].2007.  
[http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai\\_6/pdf/keigo\\_tousin.pdf](http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkashingikai/sokai/sokai_6/pdf/keigo_tousin.pdf)
- [4] 北京経済貿易大学、商務印書館、小学館。日中辞典[M]。東京：小学館、1987。
- [5] 独立行政法人国際交流基金、財団法人日本国際教育支援協会.新しい「日本語能力試験」ガイドブック[OL].2009.<http://www.jlpt.jp/reference/materials.html?mode=pc>.
- [6] 菊地康人.敬語[M].東京：講談社、1997: 401—405。
- [7] 任丽洁.关于日语中敬语动词的教学探讨 --基于日剧中敬语动词的定量调查[J].日语学习与研究、2013(4)。

Received date 2019年6月14日

Accepted date 2019年7月8日